

城戸議員（広志会）

令和3年2月19日  
教育長答弁実録  
（教育委員会）

（問）募集停止の進め方について

学校の生徒たちのことではなく、先生が必要な数が揃わないからこうすると聞こえる。教育委員会で先生の数はある程度予定しておかなければならないことを申し上げておきたい。

また、相談をした人たちの役職を出したのは、その人たちに責任を押し付けるような恰好になってしまうが、それに対する教育長の所見を伺う。

（答）

私はあくまでも子供たちのことを考えて、今回のことについて決断致している次第でございます。

様々な意見があることは承知しております。

この度の両校の生徒募集の停止につきましても、両校の在校生やこれまで学校を支えていただいた方々のことを考えますと、大変申し訳ない思いがございます。

一方で、一定の学校規模を確保し、高等学校教育の質的水準を維持・向上するということは、こちらに必要なことであると思っております。

今回の決断は大変苦渋の思いでしております。

安芸、呉昭和高等学校の両校につきましては、現在在籍している生徒及びこの春に入学する生徒が、卒業まで充実した学校生活を送り、それぞれ希望する進路が実現できるよう、学校と十分連携を取りまして、必要な支援を行ってまいりたいと考えております。

また、誰かのせいにするということは、一切ございません。

教育委員会のほうで、様々なことを勘案して決定したものでございます。

具体的な役職名を出したことにつきまして、例えばということを出したわけございまして、様々な関係者の方がおられるというふうに承知しております。

その方々のせいにするということは、一切ございませんのでご承知のほどお願い致します。